

フィリピン貿易研修センター事業  
実施協議調査団報告書

昭和62(1987)年3月

国際協力事業団

鉦開技

J R

87-116



フィリピン貿易研修センター事業  
実施協議調査団報告書

JICA LIBRARY



1040050E5J

昭和62(1987)年3月

国際協力事業団

国際協力事業団

受入 月日	'87.10.2	118
登録 No.	16810	29.8 MIT

## は し が き

フィリピン共和国では、対外債務の累増及び経常収支の悪化が進み、その改善のための輸出増進による外貨獲得が主要な課題となっている。そのために同国は、「貿易研修」「輸出検査」「展示」に精通した人材を養成し、輸出振興に寄与することを目的とする「貿易研修センター」構想を打ち出し、日本国政府に対し、同センター職員に関する技術協力及び無償資金協力を要請してきた。

これを受けて我が国は、本計画の具体的要請の内容・背景等を調査するためコンタクトミッションを昭和60年10月に派遣し、また、アキノ新政権発足（昭和61年2月）後の本プロジェクトの実施の不変性の確認及び詳細協議調整のため無償資金協力と合同の事前調査団を昭和61年3月に派遣した。

更に昭和61年6月長期調査員を派遣し、技術協力の内容・規模の策定及び必要資料の収集を行った。

この長期調査の結果を踏まえ、本プロジェクトの実施を比国政府と協議するため昭和62年2月15日から同年2月24日まで実施協議調査団を比国へ派遣した。

同調査団は、比国政府関係当局と本件技術協力実施に係る具体的事項について討議し、その結果を討議事録（R/D）及び暫定実施スケジュール（T S I）として取りまとめ、これに署名した。

本報告書は、実施協議調査団の現地における調査及び討議事項をとりまとめたものである。

ここに、本調査団の派遣に関し御協力賜った在フィリピン日本国大使館等関係各位に対し厚くお礼を申し上げます。

昭和62年3月

国際協力事業団  
理事 古閑俊彦

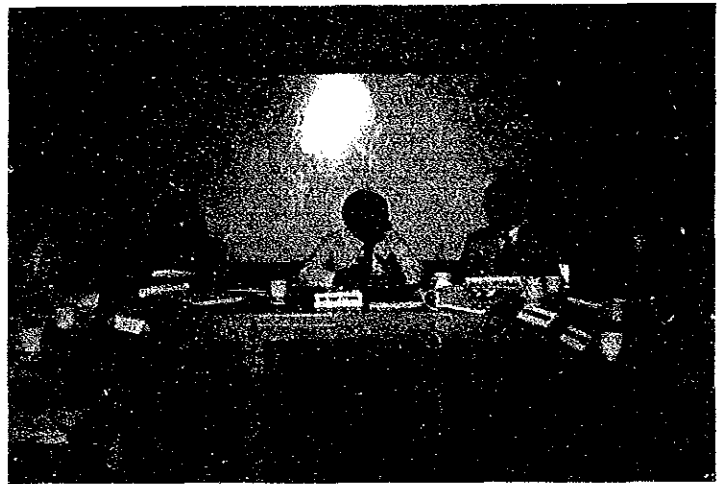




貿易工業省表敬

左から ボンカン次官  
ティローナ補佐官兼  
PTTC担当官

PTTC関係者との協議



日本側調査団員

左から 飯村団長  
菅野団員  
松本団員  
飛田団員  
櫻井団員

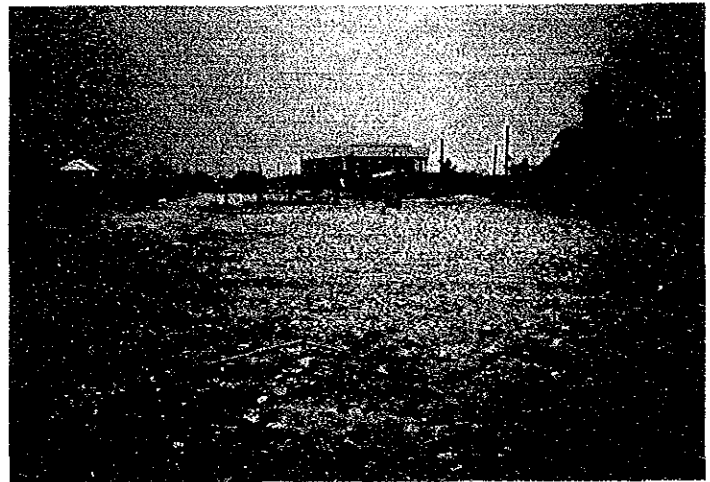






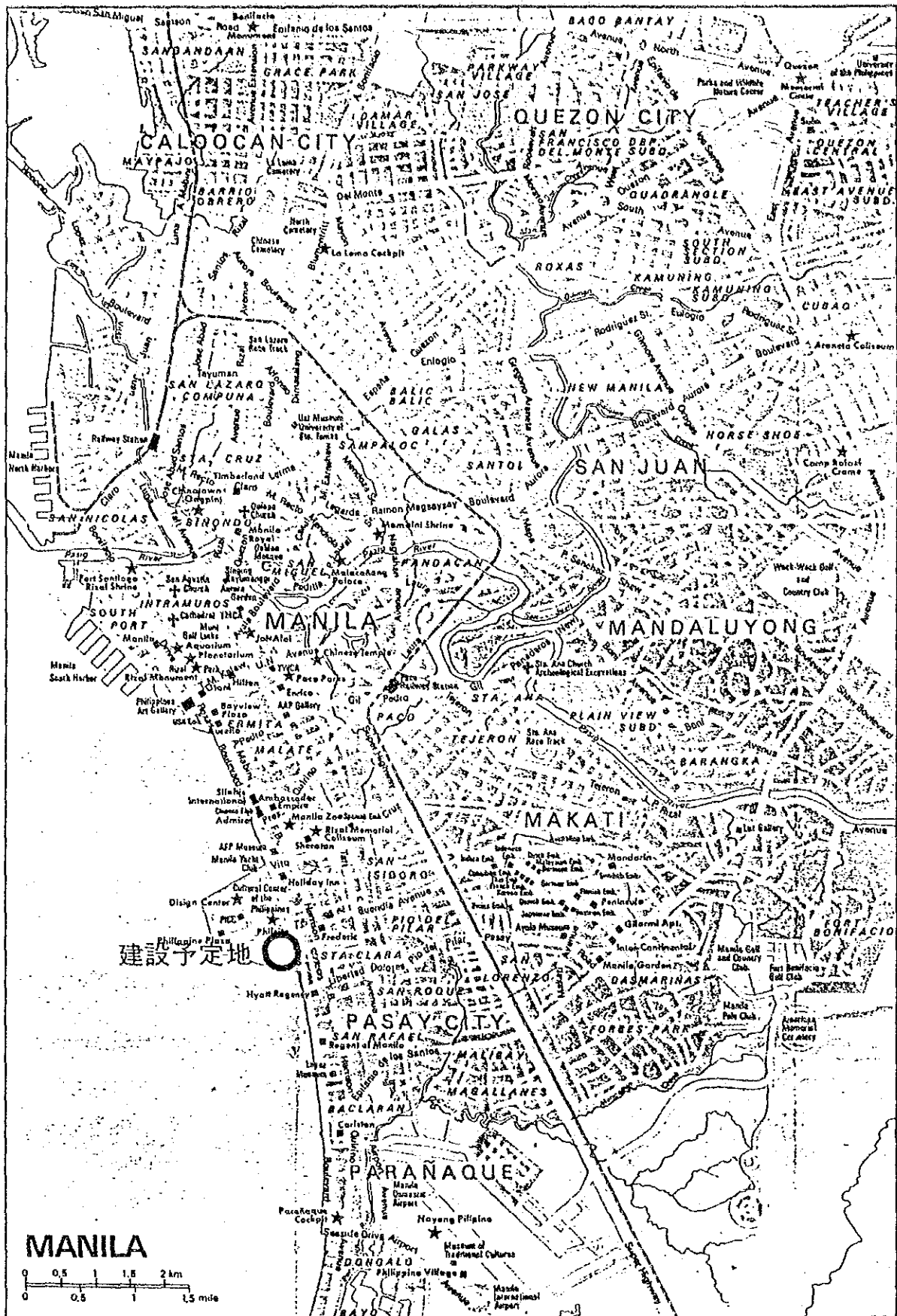
R/D 署名

サイト予定地



International Trade Center 内  
の常設展示場（缶詰）





マニラ市周辺地図



## 目 次

I	プロジェクトの目的・背景等	1
1.	プロジェクトの目的	1
2.	プロジェクトの背景	1
3.	プロジェクトの経緯	1
II	実施協議調査団派遣	2
1.	派遣の目的	2
2.	調査団の業務内容	2
3.	調査団の構成	2
4.	調査日程	3
5.	主な面談者	4
III	実施協議	7
1.	実施協議の要約	7
(1)	プロジェクト名	7
(2)	協力期間	7
(3)	協力目的	7
(4)	センター活動の概略	7
(5)	専門家派遣	7
(6)	比側カウンターパートの日本での研修	8
(7)	供与機材	8
IV	協議内容の要約	9
1.	全体協議	9
2.	貿易研修	14
3.	展示研修	15
4.	工業品輸出検査研修	16
5.	農水産品輸出検査研修	32
V	プロジェクト実施上の留意点	40
VI	その他	43



## I プロジェクトの目的・背景等

### 1. プロジェクトの目的

フィリピン共和国の貿易振興を目指し、貿易実務に精通した人材の養成、フィリピン共和国の主要輸出産品の品質向上に係る輸出検査技術等の指導及び展示手法の技術移転を行なう。

### 2. プロジェクトの背景

1979年の第2次石油危機以降非産油国であるフィリピンは、経済成長率が次第に鈍化し'82年2.6%、'83年1.3%、'84年-5.5%となった。それに伴い同国の貿易収支も悪化の一途をたどり、その是正を図るための輸出促進策は政策の急務の一つとなった。このため同国にとり第2番目の貿易相手国である我国に対し、貿易促進を行なうための「貿易研修センター」構想を打ち出しプロジェクト方式の技術協力並びに無償資金協力（建屋の建設・機材供与等）の要請をしてきたものである。

### 3. プロジェクトの経緯

(1) 昭和60年5月 日・比技術協力年次協議における協力要請	
(プロ技協)	(無償資金協力)
(2) 昭和60年10月 コンタクト調査団派遣	(2) 昭和60年10月 プロ技協コンタクト調査団とジョイント
(3) 昭和61年3月 事前調査団派遣	(3) 昭和61年3月 プロ技協事前調査とジョイント
(4) 昭和61年6月 長期調査員派遣	(4) 昭和61年7月 基本設計調査団
	(5) 昭和61年10月 基本設計・ドラフト説明調査団
	・E/N…昭和61年12月29日
	・総額…2,432百万円

## Ⅱ 実施協議調査団派遣

### 1. 派遣の目的

昭和60年10月のコンタクト調査団・昭和61年3月の事前調査団及び昭和61年6月の長期調査員の調査結果を踏まえ、策定した我方で協力可能な技術協力計画案について、協力内容・期間、双方がとるべき措置、相手国に於いて付与される特権免除等について、相手国実施機関と協議し技術協力の基本計画を作成の上、これをR/Dにとりまとめ署名する。

### 2. 調査団の業務内容

- ①本プロジェクトについて、上記目的に添ってフィリピン政府関係機関と技術協力内容等の討議を行い、これを討議議事録（R/D）及び暫定実施スケジュール（TSI）に取りまとめ署名を行う。
- ②建屋完成までの貿易研修実施に係る施設及びカウンターパート確保状況の確認を行う。

### 3. 調査団の構成

分	担	氏	名	所	属
団長	総括	飯村	圭司	国際協力事業団	鉱工業開発技術課長
団員	技術協力計画 (貿易研修・展示)	松本	玉一	日本貿易振興会	主任調査研究員
団員	技術協力計画 (工業品輸出検査)	飛田	聡	通産省 通商政策局	技術協力課
団員	技術協力計画 (農産品輸出検査)	櫻井	史郎	農水省	東京農林規格検査所
団員	業務調整	菅野	光洋	国際協力事業団	鉱工業開発技術課



4. 調査日程

日順	月日	曜日	午前・午後	業務内容
1	2/15	日		東京→マニラ (PR 4 3 1 便)
2	16	月	午前 午後	JICA事務所・大使館 表敬・打合せ NEDAサバス次局長表敬, 貿易工業省ボンカン次官表敬
3	17	火	午前 午後	FDC ルストレ所長表敬 全体協議…比側チーム (於CITEM) 個別協議 飯村団長・菅野団員…R/D案・TSI案・M/M案 松本団員・飛田団員…工業品輸出検査・展示 櫻井団員……食品関係展示場見学
4	18	水	午前 午後	個別協議 貿易研修 (於BFT) 個別協議 農産品輸出検査 (於FDC)
5	19	木	午前 午後	企業訪問 Luzon Rattan Industries MEJORE WOODWORKS, Inc 企業訪問 KLT Fruits, Inc
6	20	金	午前・午後	全体協議, R/Dドラフティング (於CITEM)
7	21	土		資料整理・国内打合せ
8	22	日		
9	23	月	午前 午後	R/D・TSI・M/M署名 (於BOI) JICA事務所・大使館 報告
10	24	火		マニラ→東京 (PR 4 3 2 便)

5. 主な面談者

(1) 比側協議チームメンバー

- (1) Antonio J. Tria Tirona  
Officer-In-Charge  
Philippine Trade Training Center  
Office of Deputy Minister Raul A. Boncan  
Ministry of Trade and Industry.
  
- (2) Mina T. Gabor  
President  
Center for International Trade Expositions & Missions, Inc.  
International Trade Center  
Roxas Blvd., cor. Sen. Gil J. Puyat Avenue  
Pasay City
  
- (3) Helen A. Cortes  
Vice President  
Plans and Programs  
CITEM
  
- (4) Araceli M. Pinto  
Vice President  
Communication and Promotions  
CITEM
  
- (5) Lourdes Martinez  
Vice President  
Administration  
CITEM
  
- (6) Merlie C. Yaptengco  
Consultant  
MTI
  
- (7) Marciano R. Pascual  
Chief, Technical Services  
and Industrial Technology Division  
NACIDA-concurrently Special  
Assistant on Technical Matters  
Office of Deputy Minister Antonio A. Henson
  
- (8) Sofia S. Mangahas  
Product Standards Specialist  
Quality Assistance Division  
Product Standards Agency

- (9) Zenaida O. Lampa  
Acting Chief  
Quality Assistance Division  
Product Standards Agency
- (10) Lilah Delos Reyes  
Chief, Promotions and Special Projects  
National Cottage Industry Development Authority
- (11) Eunice P. Villanueva  
Officer-In-Charge  
Technical Services Division  
Bureau of Small and Medium Industries
- (12) Alfredo T. Alcantara  
Chief, Technical Assistance Division  
Philippine Textile Research Institute
- (13) Baby de Cuzman  
Head, Market Development Division  
Garments and Textile Export Board
- (14) Myrna B. Capistrano  
Supervising Food Technologist  
Food Development Center
- (15) Linda Vasquez  
Technical Assistant  
CITEM
- (16) Adelaida Inton  
Chief, Export Training Division  
Bureau of Foreign Trade
- (17) Angelita Madulid  
Product Group Executive  
Food Group, CITEM
- (18) Josie S. Briones  
Technical Assistant  
CITEM
- (19) Miguel Guioguo  
Technical Assistant  
CITEM

(20)Mini De Leon  
Technical Assistant  
CITEM

(2) その他主要面談者

1. ボンカン 貿易工業省次官
2. サバス 国家経済開発庁 (NEDA) 次局長
3. ルストレ 食品開発センター (FDC) 所長

(3) 日本関係者

1. 日本国大使館

谷 崎 泰 明	一等書記官
寺 坂 信 昭	〃
中 條 泰 朗	〃

2. JICA 事務所

宮 本 守 也	所長
岩 田 東 一	所員

### Ⅲ 実 施 協 議

#### 1. 実施協議の要約

日本側で作成し持参した技術協力実施計画案（マスタープラン、暫定実施スケジュール等）に基づき、比国関係者と数回にわたり全体協議及び個別協議を行った。本プロジェクトは関係機関が多岐にわたるため、種々の意見が出されたが調整の結果、我方案どおり大筋合意に達し、討議議事録（R/D）としてとりまとめ調査団団長と貿易工業省次官との間でR/Dの署名・交換を行った。主な合意事項は次のとおりである。

##### (1) プロジェクト名

The Philippine Trade Training Center

##### (2) 協 力 期 間

本プロジェクトの協力期間は、R/D署名日から5年間。すなわち1987（昭和62）年2月23日から1992（昭和67）年2月22日までとする。

##### (3) 協 力 目 的

フィリピン共和国の貿易振興を目指し、国際貿易・輸出検査・展示に精通した人材の養成を行う。

##### (4) センター活動の概略

###### ①貿易研修

###### (i) 貿易実務コース

- ・初心者基礎講座Ⅰ
- ・初心者基礎講座Ⅱ
- ・貿易実務者上級講座
- ・特定製品セミナー

###### (ii) 貿易マネージメント・コース

- ・政府職員の貿易研修
- ・指導員の研修

###### ②輸出検査

- (i) 家具（木・竹・藤製）
- (ii) 繊維
- (iii) 食品（冷凍食品、缶詰・果実飲料）

###### ③展示

- (i) 展示マネージメント研修
- (ii) 展示テクニック研修

##### (5) 専門家派遣

チームリーダー（貿易研修兼務）・調整員を含め

長期専門家 7～8名

短期専門家 4～7名/年

(6) 比側カウンターパートの日本での研修

各年度に4～5名

(7) 供与機材

①貿易研修に必要な機材

②輸出検査に必要な機材

③相互に了解された必要機材

## Ⅳ 協議内容の要約

### 1. 全体協議

(1) 冒頭本協議の議長を務めるP T T C担当官 ( officer - in - charge ) のティローナ氏より調査団の来比目的が比側関係者に説明された。

(2) 日比両国の必要措置に係るミニッツ案に対し比側より以下のコメントがなされた。

2. a. 建屋建設の事前準備はスケジュールどおり進められており、建設業者の来比を待つばかりになっている。

2. b. 建屋完成前のカウンターパート受入れについては初年度4名、内2名は貿易研修、残り2名については比側内部で協議の上プライオリティーを付けることになった。

※ 当方より、貿易研修2名、P T T Cのマネジメント ( 所長クラス ) 2名ではどうかという提案に対し、ティローナ氏より『マネージャークラスがカウンターパートとして日本で研修を受けるのは非常に良いことで賛同するが、初年度は建屋建設、カリキュラム開発等大切な時期であるため、年度をずらすことも考えたい』とのコメントがあり上記表現になった。

2. c. 比側カウンターパートの派遣元は多岐に渡るため各ディヴィジョンの統括機関は暫定的に以下のようにする。

・貿易研修課……………B F T

・輸出検査課……………P S A

補佐機関……………NACIDA ・ FDC ・ PTRI ・ GTEB ・ BSMI

・展示研修課……………CITEM

なお暫定的にカウンターパートの給料は派遣元から支給されることになっている。

※ 協議の経過からみて、関係機関相互の調達が不可欠なことから、当方の提案により Support Agencies として各機関名を列挙することとした。

2. d. 予算について、1987年度は Foreign Assisted Project Fund から引き出され1988年以降は通常予算が付く旨説明があった。

2. e. 建屋完成前の専門家執務室及びセミナー室について確保されている旨説明があった。

(3) 日本は年間4～5名のカウンターパートを、貿易研修・輸出検査 ( 工・農 ) ・展示分野で受け入れるが、そのプライオリティー順についてはフィリピン側で協議・調整すべき事項とした。

※ 本件については、全体協議の際、関係各機関がそれぞれの立場から供与機材・カウンターパート数について主張された経緯から、今後とも比側の調整を注視する必要がある。

(4) 技術援助に係る供与機材は研修に係るものに限るとの説明を行い、又、予算上の都合から全部満たされるとは限らない旨述べた。機材のプライオリティーは、日本人専門家と比側カウンターパートとの相談の上提出されることとした。

※ 本件に関しても、前述 3 と同様、各機関から各々の立場で要請が出されるため調整が必要である。



IMPLEMENTATION SURVEY MISSION  
HIGHLIGHTS OF THE FIRST  
PLENARY MEETING  
17 FEBRUARY 1987

Philippine Side:

Mr. Antonio J. Tirona	-	PTTC Officer-in-Charge
Ms. Mina T. Gabor	-	CITEM
Atty. Helen A. Cortes	-	CITEM
Ms. Lourdes Martinez	-	CITEM
Ms. Merlie Yaptengco	-	MTI
Mr. Marciano Pascual	-	NACIDA
Ms. Lilah Delos Reyes	-	NACIDA
Ms. Zeny Lampa	-	PSA
Ms. Sofia Mangahas	-	PSA
Mr. Alfredo Alcantara	-	PTRI
Ms. Baby de Guzman	-	GTEB
Ms. Myrna Capistrano	-	FDC
Ms. Adelaida Inton	-	BFT
Ms. Angelita Madulid	-	CITEM
Ms. Linda Vasquez	-	CITEM
Ms. Josephine Briones	-	CITEM
Mr. Mike Guiogulo	-	CITEM
Ms. Mimi de Leon	-	CITEM

JICA Team:

Mr. Keiji Iimura  
Mr. Satoshi Tobita  
Mr. Tamaichi Matsumoto  
Mr. Fumio Sakurai  
Mr. Mitsuhiro Sugano

1. Mr. Tony Tirona briefed the members of the Philippine Working Group on the purpose of the visit of the Japanese Implementation Survey Team, headed by Mr. Keiji Iimura, which is to finalize the details of the Technical Cooperation Programme of the Philippine Trade Training Center (PTTC) Project.
2. On the draft of the Minutes of Meeting, Mr. Iimura presented the necessary measures which will be undertaken both by the Japanese side and the Philippine side. In response, the Philippine side commented the following:

- a. With regard to the status of the pre-construction work being undertaken by the Philippine government, the Japanese side was informed that everything is on schedule and that the Philippine side is prepared for the coming of the Japanese contractors.
- b. Inasmuch as the construction of the building will be finished yet by March 1988 and therefore the equipment will not be properly installed until then, it is suggested that the first batch of four (4) Philippine counterpart personnel who will undergo training in Japan be as follows: two (2) in Trade Training and the other two (2) subject to the priorities to be set by the Philippine side.
- c. Regarding the provision of Philippine counterpart personnel for the Project, the Japanese side was informed that the personnel will come from the different agencies involved. It was identified that the following agencies will be in-charged of the different training divisions for the interim:

Trade Training Division - Bureau of Foreign Trade (BFT)

Inspection and Testing Training Division - Product Standards Agency (PSA)

Support Agencies:

National Cottage Industry  
Development Authority (NACIDA)  
Food Development Center (FDC)  
Philippine Textile Research Institute (PTRI)  
Garments Textile Export Board (GTEB)  
Bureau of Small and Medium Industries (BSMI)

Exhibition Training Division - Center for International Trade  
Expositions and Missions, Inc. (CITEM)

Furthermore, they were informed that the salaries of the personnel will be drawn from their respective agencies. This arrangement shall be carried on in the interim.

- d. On the provision of budget for the operation and management of the Project, Mr. Tirona explained that the 1987 budget for PTTC will be drawn from the Foreign Assisted Projects Fund allocated to MTI by the Philippine government. PTTC was not able to secure a regular budget allocation from the Office the Budget and Management since the submission of budget proposals was done as early as March of the preceding

year, in which case, the Project was still under negotiation then. However, Mr. Tirona assured them that for 1988 as well as for the succeeding years, the PTTC will have its own regular budget.

- e. Lastly, Mr. Tirona assured the Japanese side that suitable office for the Japanese experts will be provided while the building is still being constructed. A suitable venue will likewise be provided for the trade trainings which will be conducted even prior to the completion of the building. Hence, some members of the Team were later accompanied to the Audio-Visual Hall which is being considered as a venue for holding the seminars.
3. The Japanese side will accept four (4) to five (5) counterpart personnel per year in the fields of trade training, inspection training which includes industrial and agricultural products and exhibition training according to the Tentative Schedule of Implementation (TSI). The Japanese side advised the Philippine side that the prioritization of counterpart personnel should be given as a result of the discussion and arrangement by concerned Philippine authorities.
  4. The equipment under the Technical Cooperation Program should be used for training purposes/technology transfer. The Japanese side mentioned that the equipment may not be wholly met due to the limitation of the Japanese budget. The prioritization of equipment should be given after the consultation between Japanese experts and Philippine counterpart.
  5. Thereafter, the schedule of activities of the Team was finalized and the group was divided into the different committees to proceed with the one-on-one consultations.

## 2. 貿易研修

(1) 日 時 : 2月18日 10:00 ~12:00 (於BFT)

(2) 内 容 :

### ①機構・組織について

機構・組織の状況について、フィリピン側 (Mr. Tirona) から、「本プロジェクトにかかわる全ての機関は基本的には現状の通り存続されるが、NACIDA については名称が変更される。ただし、NACIDA の持つ人造り、小規模企業の振興、対外支援等の機能については、名称変更後も引き続き存続する。本件機構改革については、アキノ大統領の承認を得ている。」旨の説明があった。

### ②日本人専門家派遣について

イ. 本件長期専門家派遣については、日本側から1987.4末までに派遣する。同専門家は、'87.9頃にかけて現地企業等を精査し、その結果を踏まえ研修内容等をカウンターパートと共同作業のうえとりまとめることとする予定としたい旨説明。従って、本プロジェクトに係る専門家派遣要請を '87.3末までに日本側に出すよう要請した。(A-1フォームの提出については、2.23現在MTIからNEDAに提出されている旨の説明があった。)

ロ. フィリピン側は、日本人専門家の到着前までに、研修内容を詰めるための作業スケジュール等を準備することとなった。また、本分野に係る開講については、'87.9頃を目途に準備作業を進める。

### ③研修員の受け入れについて

フィリピン側から、派遣研修員及び研修内容について次の要請があった。

- イ. カウンターパートを採用するに当たり選考の参考とするため、日本側が考えるカウンターパートの条件を具体的に示してほしい。
- ロ. カウンターパート (トレーナー) の適性としては、研修内容全般にわたる概要を把握できる者が好ましく、係る意味で研修についてはスペシャリストよりもゼネラリストを出したい。
- ハ. 日本で研修するに当たり、そのカリキュラム等を調整願うため、A-2、A-3フォームの記載に派遣研修生について必要と認められる研修事項、本人の経験、潜在能力等を追加したい。
- ニ. 研修期間は、2~3か月を希望。

### ④機材要請について

GENERAL TRAINING EQUIPMENT の検討については、Mr.Tirona から Ms.Gabor に一任されその結果17 ITEM が提出された。(別添1)

### ⑤その他

- イ. 研修コース (貿易実務コースA-1からA-4及び貿易マネジメント・コースB-1、B-2) については、長期調査時において合意した線で基本的に合意した。
- ロ. フィリピン側は、本分野にかかわる研修については弾力的に運用することが重要である旨強

調した。係る意味で Mr.Tirona は、日本人専門家が到着し次第接触し相談していきたいとの意向を示した。

### 3. 展 示 研 修

(1) 日 時 : 2月17日 15:00 ~18:00 (於CITEM)

(2) 内 容 :

#### ①日本人専門家派遣について

- イ. フィリピン側から本分野に対する長期専門家派遣の強い要望が出されたが、リーダーが兼ねて本分野に対しアドバイスをを行うが原則的には短期派遣専門家によって対応する旨説明した。
- ロ. また、フィリピン側から、展示研修コース(3コース/年)に対応して各2ヶ月程度の短期専門家の派遣が強く出された。

#### ②研修員受け入れについて

フィリピン側から、本分野についての研修員派遣予定者が少な過ぎるとの意見が出された。その目的及び内容は次のとおり。

イ. 目 的 非常に大きな市場を有し、商品に対する評価の厳しい日本の展示に関する知識と技術を体得するため。

ロ. 主な対象分野 a. デザイン b. レイアウト c. 照明技術等

#### ③機材要請について

EXHIBITION TRAINING EQUIPMENT については、CITEM が検討した結果、7ITEM が提示された。(別添2)

#### ④その他

本分野の討議に際してフィリピン側から次のような要請があった。

イ. 研修コース(E-1~E-3)については、長期調査時において合意した線で基本的に合意した。

ロ. PAL SECAM システムよるビデオテープの変換機材の要請。

これについては、日本側の子算の制約等もあり、無理である旨説明した。

ハ. AVスタジオの運営、管理のため、日本への研修員受け入れ要請。

フィリピン側は、'88第一四半期と'89第二四半期各一名派遣して研修を受けたいとのことであった。

#### (3) 実施上の留意点

本分野の Leading Section は CITEM となり、Atty. Cortes が本分野のカウンターパートの責任者に予定されている。同女史は、CITEM の№2であり、また Leading Section としての CITEM も本プロジェクトの企画段階からかわってきた実績からみても、その対応に不安はないと思われる。

しかしながら、フィリピン側の今回の機構改革により、CITEM は従来の本プロジェクト全体の Leading Section から主導権は本分野のみとなったため、日本人専門家の派遣及び研修員の受け入れについて CITEM がかわる場面は極めて限られることとなった。

このような背景から、上記の日本人専門家派遣及び研修員受け入れについての要請が非常に切実かつ強いものとなって現れたと考えられる。

従って、具体的な実施に当たっては、以上の点留意する必要があると思われる。

#### 4. 工業品輸出検査研修

(1) 日 時 : 2月17日 11:30 ~15:30 (於CITEM)

(2) 内 容 :

##### ①日本人専門家派遣及び研修内容について

イ. 本分野に係る長期派遣専門家については、TSIに記載したとおり '87.10 頃を目途に派遣することで異議は無かった。

ロ. 研修内容については、木製品(W-1~W-3)及び繊維製品(G-1, G-2)とも長期調査時において合意した線で基本的に合意し、詳細なプログラムについては長期専門家が赴任した時点で打ち合わせることを確認した。

##### ②研修員受け入れについて

フィリピン側は、木製品及び繊維製品両分野に係る日本への受け入れ研修員について次のとおり要望した。

1988.1~6 両分野各2名

1989.3~8 両分野各1名

'90 同 上

'91 同 上

イ. これに対し、研修期間6カ月は長過ぎるのではないか。具体的には受け入れ機関と相談する必要があるが、3カ月程度で十分と考える旨述べたところ、比側はかつて METROLOGY の分野で6カ月の研修をやってもらった実績を示し、本分野の研修についても基礎から応用まで含めてぜひ6カ月考慮してもらいたい旨要望した。

##### ③実施体制

TSI の ANNEX III に記載されているカウンターパートと共に次のようなフォーメーションで実施する。

繊維製品検査 Leading Agencies を PTRI とし、これに GTEB と PSA が協力する。

木製品検査 Leading Agencies を PSA とし、これに NACIDA と BSMI が協力する。

##### ④機材要請について

イ. TEXTILE TRAINING EQUIPMENT については、PTRI と GTEB が検討した結果、6

ITEM が提示された。(別添 3) そのうち, Knitting Machine については, 研修目的, 予算等から現実的でなく, その他の機材についても長期派遣専門家との間で検討されるべきである旨回答した。

ロ. また, FURNITURE TRAINING EQUIPMENT については, NACIDA が検討した結果, 2 ITEM が提示された。(別添 4) そのうち, Spray Booth については, 不要と思われるが長期派遣専門家と別途検討が必要である旨回答した。

ハ. その他, 工業品輸出検査品目に関係のある外国の規格 (J I S, I S O 等) を P T T C に備えてほしい旨要望があった。

### (3) 実施上の留意点

本分野は, 他の分野に比べて関係機関が多岐にわたり, それらの調整に十分留意することが必要である。

別添 1.

GENERAL TRAINING EQUIPMENT

<u>ITEM NO.</u>	<u>NAME OF EQUIPMENT</u>	<u>QUANTITY</u>
1	Vehicle	5
	car	(2)
	motor bike	(3)
2	Copier Machine (colored)	1 set
3	Electric typewriter	3
4	Stand for typewriter	3
5	Word Processor (English)	2
6	Noise-cut transformer	2
7	35mm slide projector and slidecoder (portable type)	1 set
8	Screen for slide projector	1
9	Overhead Projector (Portable type)	2 sets
10	Screen for overhead projector (portable type) with spare parts and consumables	2
11	Transparency maker (colored type)	1 set
12	Portable Sound Amplifier with wireless microphones	3 sets
13	Portable cassette tape recorder with microphone	2 sets
14	Whiteboard with casters	2 sets
15	Electric calculator	4 sets
16	Conference system (for 25 persons)	1 set
17	Video tape for commodities (Ready-made training films from Japan for duplication in Manila)	



LIST OF ADDITIONAL EQUIPMENT FOR EXHIBITION  
TRAINING COURSE

<u>ITEM NO.</u>	<u>NAME OF EQUIPMENT</u>	<u>QUANTITY</u>	<u>DIMENSION</u>	<u>DESCRIPTION</u>
1	Stanchions	30 pcs.		
2	Whiteboards	4 pcs.	30 x 60 mm	melamine top
3	Self-service shelves	4 pcs.	350 x 350 mm	chromium-plated, finish, knock- down
4	Ceiling Grids	60 pcs.	30 x 30 x 25 mm	knock-down steel pipe & rod, chromium plated finish
5	Lightbox	3 pcs.	5 - 6 ft.	White & transparent acrylic sheet, free standing with light inside
6	Full-sizer machine with photo-printing process			machine design enlarger and reducer
7	Mannequins			flat, dummies, modern type
	woman	35 pcs.		
	man	15 pcs.		
	boy	10 pcs.		
	girl	10 pcs.		

ADDITIONAL EQUIPMENT TO BE REQUESTED  
UNDER TECHNICAL COOPERATION

GARMENTS AND TEXTILE TRAINING EQUIPMENT

1. Circular knitting machine for laboratory
2. Fabric snag tester
3. Color matching equipment
4. Software for pattern making, and for standardization of measurements
5. Yarn evenness tester
6. Chemicals for testing fabric

(by Mr. Alcantara of PTRI and Ms. De Guzman of GTFB)

ADDITIONAL EQUIPMENT TO BE REQUESTED  
UNDER TECHNICAL COOPERATION

FURNITURE TRAINING EQUIPMENT

1. 1 unit water bath (spray booth) for catching stray paint and retrieving for recycling
2. 1 unit probing ring, calibrating equipment to be used in relation to the universal testing equipment

(by Mr. Pascual of NACIDA)

SUMMARY OF DISCUSSION ON TRADE TRAINING  
18 FEBRUARY 1987  
10:00 - 12:00 P.M.

Philippine Side:

Mr. Antonio J. Tirona	-	PTTC Officer-in-Charge
Ms. Merlie C. Yaptengco	-	MTI
Ms. Adelaida Inton	-	BFT
Mr. Mike Guioquio	-	CITEM

JICA Team:

Mr. Keiji Iimura  
Mr. Satoshi Tobita  
Mr. Tamaichi Matsumoto  
Mr. Fumio Sakurai  
Mr. Mitsuhiro Sugano

1. The Japanese side inquired on the status of reorganization particularly with regard to BFT. The Philippine side replied that the documents on the proposed reorganization are with President Aquino for her signature. Basically, all existing agencies will remain except for NACIDA which may be abolished in name but its functions on manpower and program development, small business assistance and external assistance will remain.
2. After the clarification by the Philippine side, the Japanese side explained that the experts are scheduled to be dispatched in April. They will then observe local factories and undertake thorough discussion with local counterparts before finalizing the details of the training with the Philippine counterparts between April to September, 1987. In this regard, the Japanese side emphasized that the A-1 Forms for the official request for Japanese experts be transmitted to them before the end of March.
3. The Philippine side indicated that a working paper will be prepared before the experts arrive in order to assure smooth work on the finalization of the Training Course Contents. With the Experts' schedule, it is estimated that initial class will be started by September 1987.
4. The Philippine side asked to be enlightened on the nature of training done in Japan so that it will be able to determine the right qualifications in its choice of trainers to be dispatched to Japan. The A2-3 Forms to be filled-up by the recommended trainer will give the Japanese side information on his/her training needs, experiences and potentials which will be the basis for the training curriculum in Japan so that it will be

tailored-cut to Philippine needs. The Philippine side stressed that the Philippine counterpart personnel (trainors) to be sent to Japan must be generalists rather than specialists as implied in the course outline.

5. The Philippine side stressed the importance of flexibility with regard to the various aspects of trade training. Mr. Tirona indicated that he wants immediate interaction with the experts once they arrive. He emphasized that the trainors should possess not only the knowledge on the course but should have the ability to communicate effectively with the trainees.

SUMMARY OF DISCUSSION ON THE  
EXHIBITION TRAINING  
17 FEBRUARY 1987  
3:00 - 5:30 P.M.

Philippine Side:

Atty. Helen A. Cortes	- CITEM
Ms. Ely Pinto	- CITEM
Ms. Linda Vasquez	- CITEM
Ms. Mimi de Leon	- CITEM

JICA Team:

Mr. Tamaichi Matsumoto  
Mr. Satoshi Tobita

1. Inasmuch as majority of the equipment necessary for the implementation of the Exhibition Training Course had already been approved under the Grant Aid Program, only a few additional equipment were requested under the Technical Cooperation Program as listed in Annex I.
2. Concerning the training of Philippine counterpart personnel in the field of exhibition in Japan, the Philippine side strongly proposed the increase in the frequency of training such that a total of three (3) personnel will undergo training in Japan on the first quarters of 1988, 1989 and 1990. This is to update the knowledge of the trainers on the latest design, lay-outing and lighting technique and others. The Japanese side advised that such a proposal should be discussed and arranged by the Philippine side.
3. On the dispatch of Japanese Experts, the Philippine side proposed that three (3) short-term experts for the three (3) training courses must be dispatched annually for a period of two months each except for the expert in design which will be here only for a period of one month. This is in view of the difficulty in recruiting design specialists since their other work commitments as highly technical people will not allow them to render services for a longer period of time.
4. In addition to the discussion on the Exhibition Training Course, the Philippine side also proposed the following additional requests:

a. Audio-Visual

1. On the audio-visual equipment, the Philippine side requested again for a film converter. This machine will facilitate the conversion of VHS tapes to PAL SECAM and therefore will enable us to save time and money in having the tapes converted in Hongkong since the machine is not available in the Philippines. The Japanese side, however, commented that the request on this machine will not be considered under the Technical Cooperation Program due to Japanese budgetary constraints.
2. Inasmuch as the approved Audio-Visual Equipment under the Grant Aid Program are very sophisticated, the Philippine side proposed that the training under the Technical Cooperation Program be provided with two (2) technicians who will handle the operation and management of the equipment. The Philippine side further specified that the first technician should be sent to Japan on the first quarter of 1988 and the second on the first quarter of 1989. The matter will be further discussed and arranged by the Philippine side.

b. General Training

To further reinforce the effectivity of the training programs, additional requests on General Training Equipment were made as listed in Annex II.

## ANNEX I

## LIST OF ADDITIONAL EQUIPMENT FOR EXHIBITION TRAINING COURSE

<u>ITEM NO.</u>	<u>NAME OF EQUIPMENT</u>	<u>QUANTITY</u>	<u>DIMENSION</u>	<u>DESCRIPTION</u>
1	Stanchions	30 pcs.		
2	Whiteboards	4 pcs.	30 x 60 mm	melamine top
3	Self-service shelves	4 pcs.	350 x 350 mm	chromium-plated, finish, knock-down
4	Ceiling Grids	60 pcs.	30 x 30 x 25 mm	knock-down steel pipe & rod, chromium plated finish
5	Lightbox	3 pcs.	5 - 6 ft.	White & transparent acrylic sheet; free standing with light inside
6	Full-sizer machine with photo-printing process			machine design enlarger and reducer
7	Mannequins			flat, dummies, modern type
	woman	35 pcs.		
	man	15 pcs.		
	boy	10 pcs.		
	girl	10 pcs.		



ANNEX II

GENERAL TRAINING EQUIPMENT

<u>ITEM NO.</u>	<u>NAME OF EQUIPMENT</u>	<u>QUANTITY</u>
1	Vehicle car motor bike	5 (2) (3)
2	Copier Machine (colored)	1 set
3	Electric typewriter	3
4	Stand for typewriter	3
5	Word Processor (English)	2
6	Noise-cut transformer	2
7	35 mm slide projector and slidecoder (portable type)	1 set
8	Screen for slide projector	1
9	Overhead Projector (Portable type)	2 sets
10	Screen for overhead projector (portable type) with spare parts and consumables	2
11	Transparency maker (colored type)	1 set
12	Portable Sound Amplifier with wireless microphones	2 sets
13	Portable cassette tape recorder with microphone	2 sets
14	Whiteboard with casters	2 sets
15	Electric calculator	4 sets
16	Conference system (for 25 persons)	1 set
17	Video tape for commodities (Ready-made training films from Japan for duplication in Manila)	

SUMMARY OF DISCUSSION ON GARMENTS,  
TEXTILES AND FURNITURE INSPECTION TRAININGS

17 FEBRUARY 1987

11:30 - 3:00 P.M.

Philippine Side:

Ms. Zeny Lampa	- PSA
Ms. Sophia Mangahas	- PSA
Ms. Leila delos Reyes	- NACIDA
Mr. Freddie Alcantara	- PTRI
Mr. Marciano Pascual	- NACIDA
Ms. Baby de Guzman	- GTEB
Mr. Mike Guioguo	- CITEM

JICA Team:

Mr. Tamaichi Matsumoto  
Mr. Satoshi Tobita

1. The Philippine side understood the basic curriculum of the training course as reflected in pp. 50-58 of the finalized Basic Design Study for PTTC. The Japanese side indicated that the details of the course will be discussed with the incoming Japanese Experts.
2. In the schedule of implementation provided by the Japanese side, the lead agencies and participating agencies for the training courses were explicitly indicated in Annex III of the Tentative Schedule of Implementation (TSI) (PTRI as lead for garments with GTEB and PSA while PSA as lead for furniture with NACIDA and BSMI). The Philippine side understood the schedule of counterpart personnel in Annex I of the TSI to be sent to Japan but if possible proposed to increase its number.
3. On the manner of training, the Philippine side proposed a six-month training period because such time frame will allow for a comprehensive training (basic to advance). The Japanese side commented that it is too long and that their initial estimate was a three-month training period given the usual training duration in Japanese organizations which will be the venue for training. The Philippine side compared that past trainings they had undertaken in Japan lasted even longer and covered broad topics at that. The Japanese side took note of this.

4. On the schedule of dispatch of counterpart personnel to Japan, the Philippine side proposed to send two (2) trainees each for garments and furniture in the first batch, January to June 1988, in order to have a sufficient number of trainers by the time the building and the testing equipment are in place. Thereafter, one (1) trainee each will be dispatched during March - August annually until 1990 - 1991. The Japanese side advised that such proposal should be discussed and arranged by the Philippine side.
5. The Philippine side also proposed additional equipment that may be requested under the technical cooperation portion of the PTTC project (list attached).
6. The Philippine side proposed that the foreign standard reference materials such as JIS, ISO and others which cover the inspection training items be provided to PTTC upon the suggestion of Japanese experts.

ADDITIONAL EQUIPMENT TO BE REQUESTED  
UNDER TECHNICAL COOPERATION

GARMENTS AND TEXTILE TRAINING EQUIPMENT

1. Circular knitting machine for laboratory
2. Fabric snag tester
3. Color matching equipment
4. Software for pattern making, and for standardization of measurements
5. Yarn evenness tester
6. Chemicals for testing fabric

(by Mr. Alcantara of PTRI and Ms. De Guzman of GTEB)

ADDITIONAL EQUIPMENT TO BE REQUESTED  
UNDER TECHNICAL COOPERATION

FURNITURE TRAINING EQUIPMENT

1. 1 unit water bath (spray booth) for catching stray paint and retrieving for recycling
2. 1 unit probing ring, calibrating equipment to be used in relation to the universal testing equipment

(by Mr. Pascual of NACIDA)

## 5. 農水産品輸出検査研修

(1) 日 時 : 2月18日 3.30~4.30

### (2) 内 容

- ・輸出検査研修コースの打合わせについて、比側からはFDCの所長の Dr. Lustre 女史が対応した。
- ・輸出検査研修コースでは、研修を効果的に行うためにカウンターパートはFDCの職員派遣を必須と考えており、前回の長期調査員の調査の際も、協力要請を行い、職員派遣の面で一定の了解を得ていたが、今回の打合わせでは、FDCの職員派遣についてはFDC自体了承（派遣時期、派遣期間等）していたが、日本での研修員受入れに関しては、日本で研修を受けた者は、PTTCでの常勤講師となるよう求められていることから、現在の人員で精一杯との判断により前向きな対応がなかった。
- ・提示した輸出検査研修コースの試案については、前回の長期調査員との打合わせにより、よく理解しており、期待している旨の発言があった。ただし、研修計画案の具体的な内容の提示のほか、実習の中に工場実習を取り入れて欲しい旨の要望があった。
- ・輸出検査研修コースのFDCの協力は各コースに付、年間3ヶ月程度（教材開発、プランニング、インストラクト等）を考えているとのことであった。

### (3) その他

- ・PTTCとFDC間の協力関係については、前回の長期調査員の打合わせによりメモランダムで合意されると聞いていたが両機関の事情によるものと思われるが、我々の帰国時まで合意文書に署名がなされなかった。

### (4) 実施上の留意点

- ・全体会議の中でカウンターパートの派遣については、比側で協議の上プライオリティをつけることになったが、農水産輸出検査研修では、FDCの職員派遣を必須と考えており、FDCの職員が選考される様に希望する。
- ・1987秋に派遣される予定の短期専門家は、輸出検査研修コースの研修内容について、具体的内容を提示できる様にしておく必要がある。
- ・1987秋には、当初の予定どおり、長期専門家を派遣し、このプロジェクトを円滑に推進できる様にすることが望ましい。

SUMMARY OF DISCUSSION ON  
FOOD INSPECTION TRAINING COURSE  
18 FEBRUARY 1987  
3:30 - 4:30 P.M.

Philippine Side:

Dr. Alicia Lustre	-	FDC
Ms. Myrna Capistrano	-	FDC
Ms. Alice Pineda	-	CITEM

JICA Team:

Mr. Keiji Iimura  
Mr. Satoshi Tobita  
Mr. Tamaichi Matsumoto  
Mr. Fumio Sakurai  
Mr. Mitsuhiro Sugano

1. The JICA Implementation Survey Team headed by Mr. Keiji Iimura met with Dr. Alicia Lustre, Director of the Food Development Center, and Myrna Capistrano, FDC representative to JICA negotiations.
2. The JICA Team presented the tentative schedule of implementation, technical cooperation program and outline of training curriculum for the Philippine Trade Training Center.
3. These were accepted by Dr. Lustre with the understanding that details of the food inspection training courses will be discussed later with the Japanese technical expert to be sent for this purpose.
4. The Japanese Team was shown the laboratory facilities and the current activities conducted at Food Development Center.
5. The Philippine side understood the tentative number of personnel to be sent to Japan as indicated in the Annex I of the Tentative Schedule of Implementation (TSI).

A Brief Information On The Food Development Center  
(June 1986)

What is the Food Development Center (FDC)?

The Food Development Center is an industry-oriented research organization with expertise in the following areas.

- Post harvest handling of fresh foods, fruits and vegetables, shrimps, fish, etc.
- Quality Control of food processing, distribution and storage
- Product standards development
- Product and process development
- Food analysis and evaluation

The Center is presently the research arm of a government marketing organization, the Food Terminal, Inc.(FTI). However, it serves both FTI, food industries, exporters, farmers and fishermen.

Who Supports the Food Development Center?

FDC expenses come from the corporate funds of FTI. The facilities were built by FTI-NFA (National Food Authority). Industry clients pay FDC for its services.

In 1984, FDC was given US\$662,000 from an Asian Development Bank funded Agro-Processing and Marketing Project of NFA. The amount has been used to upgrade laboratory and pilot plant facilities.



## FOOD DEVELOPMENT CENTER

### What are the special features of the FDC services?

1. FDC evaluates product quality against actual importing country regulations and other market requirements. For this purpose, it maintains a collection of food quality standards of countries importing Philippine foodstuffs.
2. FDC has a research capability to help solve quality problems when importing country standards cannot be met.
3. FDC has close ties with the United States Food and Drug Administration and is working closely with them in establishing quality standards for Philippine food products.

FDC has been accepted by the USFDA to certify food exports to the US although the formal acceptance of this project still has to be approved by both the US and Philippine governments.

FDC has been accredited by the Ministry of Health and Welfare of Japan as a testing laboratory for food and food additives.

### What is the history of the FDC?

FDC has been a research organization since 1968, when the Food Terminal, Inc. was established by the Development Bank of the Philippines. At that time, it was a technical laboratory establishing grade standards for the marketing of fresh produce.

When FTI evolved in 1980, from a government facility for food storage, to a marketing organization extensively involved in food trading and distribution, the research laboratory grew into a Center that established the technical requirements for achieving and maintaining quality in the food distribution chain.

The Department grew from a core staff of 15-20 personnel to its present complement of 65 and expanded its expertise from postharvest handling and storage to include food processing quality control and product development.

What is the personnel complement of FDC?

There are 53 professional university graduates, 4 in the clerical force and 8 in the skilled manpower force. One has a PHD degree, one has a masters degree. Three are abroad for graduate level degrees, one of whom is working for a PhD.

Actual participation in commercial food marketing and distribution given the FDC staff a practical and industry oriented approach to research. This perhaps distinguishes it from other research organizations in the country.

What are the services offered by FDC?

FDC's services are designed to help the food processing industry and its farmers and fishermen suppliers produce products acceptable in the market at the price and quality required.

A list of its services are enclosed.

FOOD TERMINAL INC.

FTI OFFERS THE FOLLOWING TECHNICAL SERVICES  
TO THE FOOD INDUSTRY ESPECIALLY THOSE WHO  
DESIRE TO ENTER THE FOOD EXPORT MARKET

1. Product Evaluation vs. Export Market Requirements
2. Quality Control Services in:
  - a. Procurement of raw materials
  - b. In-line processing
  - c. Storage monitoring
  - d. Shipment inspection
3. Technology Development
  - a. Product and/or process development
  - b. Package development and label evaluation for export
  - c. Development of quality control systems
  - d. Establishment of shelf-life
  - e. Problem evaluation and/or project analysis
  - f. Technology Transfer
4. Food Analysis
  - a. Chemical analysis
  - b. Microbiological analysis
  - c. Microanalytical (Filth) analysis
  - d. Physical and sensory evaluation
5. Training
  - a. In-plan
  - b. Laboratory training on methods of analysis
6. Seminars
  - a. For small enterprises
  - b. For large enterprises

Commodities of Special Experience.

1. Frozen Fruits and Vegetables
2. Dried Fruits and Vegetables
3. Traditional Foods, Canned and Bottled
4. Shrimps for Export

If you wish to discuss the above further, please contact:  
Mrs. Luzviminda A. Lachica who will schedule your appointment with our  
technical staff knowledgeable with your specific requirements.

MAILING ADDRESS: FOOD RESEARCH DEPARTMENT  
FOOD TERMINAL, INCORPORATED  
TAGUIG, METRO MANILA

TELEPHONE NOS. 822-11-81 and 820-12-94

REPORT ON THE FACTORY VISITS OF THE  
JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY MISSION

19 FEBRUARY, 1987

9:00 A.M. - 4:00 P.M.

Philippine Side:

Amy Samonte - CITEM  
Alice Pineda - CITEM

JICA Team:

Mr. Keiji Iimura  
Mr. Satoshi Tobita  
Mr. Tamaichi Matsumoto  
Mr. Fumio Sakurai  
Mr. Mitsuhiro Sugano

1. Luzon Rattan, Inc.  
210 Nicanor Garcia Street  
Bel-Air II, Makati

Evelyn Yang, Vice President of the company, toured the group around the factory. The company specializes on the production of rattan furniture, 95% of which is sold in the export market. The whole production process from peeling of rattan poles to straining of the assembled furniture was observed by the group.

2. Mejore Woodworks, Inc.  
IDC Building, E. Rodriguez Avenue  
Ugong Norte, Quezon City

Since there was still plenty of time, the group requested to be taken to a wood furniture manufacturer. In MWI, the group was shown around the factory and milling plant by Sandy Yang and the production manager.

3. KLT Fruits, Inc.  
Cupang, Muntinlupa  
Metro Manila

The team was met by Dr. Michael Lao, Vice President for Technical Operation of KLT Fruits. Dr. Lao explained to the Team the present operations of the plant. It is now manufacturing frozen tropical fruit purees which are exported to various foreign markets. The products included mango, guyabano, kalamansi, banana and guava purees. The plant is expanding to include IQF facilities and later dehydration facilities so that the company can offer tropical fruits in various processed forms.

The Team was shown the manufacturing facilities starting from the raw material preparation up to the finished product storage. Each processing step was explained by Dr. Lao.

## V プロジェクト実施上の留意点

1. P T T Cは、貿易工業省の International Trade Group に新しく設立される研修機関であるが、貿易研修センターという性質上関係する機関が多岐にわたる。今回の協議の過程においても、種々の意見がそれぞれの立場から出され調整にかなりの努力と時間を要した経緯から、プロジェクト実施面でもバランスのとれた調整が不可欠である。
2. 今回 P T T Cの Officer-in-charge に指名されたティローナ氏及び彼のアシスタントであり、又比側カウンターパートの Overall Coordinator となったヤブテニコ女史は、非常に有能と思われ、かつ我国の技術協力の仕組みについても良く勉強していることから、プロ技協の本旨である。Trainors Training について積極的な推進が期待できると思われる。
3. 比側カウンターパートは、予定されている研修の実施面を行っている機関から派遣されるため、経験・資質ともかなりのレベルにあるものと思われる。従って各専門家が移転する技術内容及び方法は、それぞれのカウンターパートの経験・能力に合わせたフレキシブルな対応が必要である。又、短期専門家派遣に際してはカウンターパートの資質等を長期専門家がじっくりと見極めた上で特定の技術・技能をもつ人を選び、派遣時期・期間なども相当柔軟に対応する必要がある。
4. カウンターパートの日本での研修にあたっては、比側でも重点をおいている分野であるため、研修カリキュラム・研修期間の選定が大事である。従って、派遣専門家との連絡を密にとり、カウンターパートの経験・能力を十分に把握の上、具体的に日本で何を勉強したいのか等、ターゲットを絞った研修が必要であり、その結果、本人の経験・能力・専門家による技術移転・日本に於ける研修の三者が有機的に咬みあろうよう工夫が必要である。
5. 貿易工業省の進めている地方振興政策に呼応して P T T Cでも各地方事務所において、民間部門に対する輸出貿易管理の顧問的な人間を教育したいとの意向がある（別添A参照）これは、日本の技術協力終了後もセンターの機能として残ることが予想されるため、具体的な研修実施に係るカリキュラム等は、派遣専門家によって詰められる必要がある。

February 20, 1987

Mr. Keiji Iimura  
Head of Technical Cooperation Division  
Japan International Cooperation Agency

THRU:

Mr. Moriya Miyamoto  
Resident Representative  
Japan International Cooperation Agency  
L.C. Building, Sen. Gil Puyat Avenue  
Makati, Metro Manila

Dear Mr. Iimura:

This submits a brief on PTTC's plan to assist the Department of Trade & Industry's (DTI) Regional Operations Group (ROG) headed by Undersecretary Ceferino Follosco.

The DTI is in the process of strengthening its regional offices in order to better assist in developing the countryside, specifically in expanding both the countryside's domestic and export trade. It is envisioned that each province will have a DTI coordinator who will act as the catalyst of the business sector in the province assigned to him.

As such, we project that there will be a need to train the ROG provincial representatives and some members of the provincial business sector in export trade management.

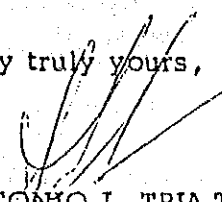
We plan to train the ROG provincial representatives here in Manila and then let the representatives replicate the training in his province of responsibility. It is also envisioned that some PTTC trainers will have to go to the provinces to assist ROG in conducting short courses needed by the selected provinces.

This concept of ROG training will be fine-tuned upon the arrival here of JICA experts.

We trust we have clarified this matter of ROG and PTTC.

Warmest personal regards.

Very truly yours,

  
ANTONIO J. TRIA TIRONA  
OIC - PTTC

cc: Mr. Moriya Miyamoto ✓  
Undersecretary Raul A. Boncan



## Ⅵ そ の 他

1. 本調査団滞在中比側の政府内の組織改称により（Ministry 制から Department 制へ）従来の Ministry of Trade & Industry が Department of Trade & Industry となり、それに伴い本 R/D の署名者であるボンカン副大臣も Depnty Minister から Undersecretary と呼称が変更された。しかしながら R/D 署名は、経過措置の範囲内であつ、従来から継続して話し合われてきた内容であるため、従来の呼称で行い、その効力は何ら変わらないものであることを確認した。（別添 B）
2. 本プロジェクトの関係期間の中で F D C だけが農業省所管であることから、プロジェクトの効率的な運営を行う等の観点から F D C と P T T C との間で合意文書を作成し、署名を行うことになった。（別添 D）
3. 現在比側でセレクトされたコーディネイト・カウンターパートは別添 C の書簡のとおり。テクニカル・カウンターパートについては、3月末までにリクルートするよう努力されている。

比国政府機関の名称変更 (Ministry より Department へ)  
 に係る新聞記事 (2月17日付の Manila Bulletin 紙)

## Ministries <sup>2/17</sup> now become departments

President Aquino has ordered that with the proclamation of the 1986 Constitution, all ministries should henceforth be called departments. The Chief Executive added that ministers should be described as secretaries, deputy ministers as undersecretaries, and assistant ministers/secretaries as assistant secretaries. She suggested that existing stationeries or other papers bearing the letterhead or description of ministries or ministers should be used until the supplies are exhausted.

Whenever convenient, typewritten corrections can simply be made thereon, she added. The President's instructions were contained in Administrative Order No. 15, which she signed last Tuesday, Feb. 11.

Meanwhile, in Administrative Order No. 16 which she also signed on Feb. 11, the President authorized "officials who are holding positions in the government other than their primary positions to continue performing their duties in all such positions so as not to disrupt office operations, until guidelines are issued relative to the provisions of Section 13, Article VII of the 1986 Constitution in conjunction with Sections 7 and 8 of Article IX (B)."



REPUBLIC OF THE PHILIPPINES  
**MINISTRI NG KALAKALAN AT INDUSTRIYA**  
 (Ministry of Trade and Industry)  
 Trade and Industry Building  
 361 (Buendia) Sen. Gil J. Puyat Avenue  
 Makati, Metro Manila, Philippines 3117

Cable Address MTI  
 Telex 14830 MTI PS  
 45466 MOT PS  
 45467 MOT PS

Tel. No. 818-57-01 to 20  
 P.O. Box 2803, Makati Commercial Center

February 18, 1987

Mr. Keiji Iimura  
 Head of Technical Cooperation Division  
 Japan International Cooperation Agency (JICA)

Thru:

Mr. Moriya Miyamoto  
 Resident Representative  
 Japan International Cooperation Agency  
 2nd Floor, L.C. Building  
 375 Sen. Gil J. Puyat Avenue  
 Makati, Metro Manila

Dear Mr. Iimura:

This confirms our discussions yesterday, February 17th, concerning the Philippine Trade Training Center (PTTC) counterpart personnel.

The following shall be our side's counterpart to the JICA Long Term Experts who are expected to be here in Manila sometime in Mar.-Apr. 1987.

- |                                  |   |  |
|----------------------------------|---|--|
| Overall Coordinator              | - | Ms. Merlie Yaptenco<br>Assistant to Mr. A.J. Tirona                                      |
| Trade Training                   | - | Ms. Adelaida Inton<br>Chief, Export Training<br>Bureau of Foreign Trade                  |
| Exhibition Training              | - | Atty. Helen A Cortes<br>Vice President, Planning &<br>Programs, CITEM                    |
| Inspection & Testing<br>Training | - | Ms. Zeny Lampa<br>Acting Chief, Quality Assistance<br>Division, Product Standards Agency |

Assisting Ms. Zeny Lampa are the following:

- |  |   |  |
|--|---|--|
| Furniture Inspection/Testing           | - | Mr. Macario Pascual<br>Chief, Technical Services<br>& Industry Technology Div.<br>NACIDA |
| Textile/Garment Inspection/<br>Testing | - | Mr. Alfredo Alcantara<br>Chief, Technical Assistance<br>Division - PTRI                  |
| Food Inspection/Testing                | - | Ms. Myrna Capistrano<br>Supervising Food Technologist<br>Food Development Center         |

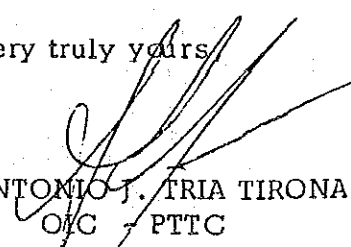
All the above have been very much involved during the design phase and various discussions with JICA teams, and have ably contributed to the PTTC project's conception. They are prepared to team up with the corresponding JICA Long Term Experts.

With respect to Ms. Merlie Yaptenco, she will assist me in the day-to-day management and supervision of PTTC. Ms. Yaptenco has extensive experience in training and in export strategy formulation. I am enclosing, for your information, a copy of her curriculum vitae.

On the matter of the Philippines' side trainers for training in Japan, as I have informed you, we are in the process of making our selection. We are confident that we will be able to select the qualified personnel before end of March. As such, we expect to send you, thru your JICA Manila Office, the necessary A2-3 forms by end March 1987 as per schedule we discussed.

We look forward to a long and fruitful association with JICA.

Very truly yours

  
ANTONIO J. TRIA TIRONA  
OIC - PTTC

cc: Mr. Moriya Miyamoto  
Undersecretary Raul A. Boncan

MEMORANDUM OF AGREEMENT

別添 D

KNOW ALL MEN BY THESE PRESENTS:

This Memorandum of Agreement, made and executed at  
Makati, Philippines by and between:

The PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER of the Department of Trade and Industry with postal address at International Trade Center, Roxas Boulevard cor. Sen. Gil J. Puyat Avenue, Pasay City, duly represented herein by its Undersecretary PAUL A. BONGCAN, hereinafter referred to as "PTTC";

- and -

The FOOD DEVELOPMENT CENTER of the National Food Authority-Food Terminal, Inc. with postal address at FTI Complex, Bicutan, Taguig, Metro Manila, duly represented herein by its Administrator EMIL L. ONG, hereinafter referred to as "FDC";

W I T N E S S E T H : That;

WHEREAS, the PTTC was organized to train participants from both the Private and Government Sectors on Export Business Management, Export Promotions, and Product Inspection and Testing;

WHEREAS, Food Inspection and Testing is one of the courses of the training program of PTTC;

WHEREAS, the FDC, a research and development organization, has the expertise and facilities on Food Inspection, Grading, and Quality Control;

WHEREAS, PTTC has requested for FDC's assistance in managing PTTC's Food Inspection and Testing Courses;

NOW, THEREFORE, the PTTC and the FDC in recognition of the above, do hereby agree as follows:

I. STATEMENT OF FUNCTIONS AND RESPONSIBILITIES

The FDC shall:

- a. Provide counterpart expertise to the JICA Expert

Mission on Food Inspection training, particularly in the development of training course content and the choice of equipment for training;

- b. Make available to the PTTC qualified personnel from its staff to handle the implementation of the Food Testing and Inspection Course;
- c. Provide PTTC access and use of its Food Testing Equipment, which it acquired from its own grant from the Japanese Government through the JICA, and located at its offices;
- d. Develop materials for the training manuals;
- e. Conduct for PTTC, at PTTC's CENTER, six (6) training sessions per year for two (2) types of courses, covering a period of approximately ten (10) days per training session, over a five (5) year period;
- f. Assume responsibility for the relevance of the training course to the local needs and to the overall PTTC objectives of promoting food export trade;
- g. Coordinate closely with PTTC to attain the training course objectives;
- h. Prepare and submit to the PTTC its estimated budget per training course and type, for approval and acceptance; and
- i. Assist PTTC in screening and in selecting Trainers for training in Japan.

The PTTC shall:

- a. Provide FDC with access to and use of the Food Testing and Inspection equipment that PTTC has separately sourced from the Japanese Government through the JICA and which will be installed at its training center building;
- b. Arrange for the training of trainers in Japan;
- c. Provide FDC with administrative support while FDC is conducting the training sessions at the Center;
- d. Reimburse FDC for its expenses in conducting the training courses as per mutually agreed upon budget that FDC will submit to PTTC; and

- e. Select and screen the participants from both the Private and Government sectors that will undergo training.

II. DURATION OF AGREEMENT

This Memorandum of Agreement shall be effective upon the date of signing of this agreement by both parties and shall be in full force and effect for a period of five (5) calendar years, renewable annually thereafter at the option of the parties. This agreement may be revised or modified in writing from time to time upon mutual consent of the parties. Further, this agreement may be terminated by either party upon a 30-day advance notice to the other.

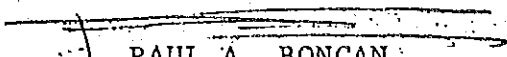
IN WITNESS WHEREOF, the parties hereto have hereunder affixed their signatures, this 27th day of April, 1987, at Makati, Metro Manila, Republic of the Philippines.

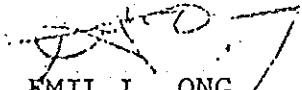
PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER (PTTC)

FOOD DEVELOPMENT CENTER (FDC)

By:

By:

  
 RAUL A. BONCAN  
 Undersecretary  
 Department of Trade & Industry

  
 EMIL L. ONG  
 Administrator  
 National Food Authority

A C K N O W L E D G E M E N T

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES )  
 ) S. S.  
 CITY OF Makati )

BEFORE ME, a Notary Public for and in \_\_\_\_\_  
 this 27th day of April personally appeared the  
 following:

	<u>RES. CERT. NO.</u>	<u>PLACE/DATE ISSUED</u>
RAUL A. BONCAN	6290258-F	Makati, M.M. 3/2/87
EMIL L. ONG	1580	MANILA/02-11-87

personally known to me and to me known to be the same persons who executed the foregoing Memorandum of Agreement, and acknowledged to me that the same was executed of their own free and voluntary act and deed, as well as of the centers herein represented.

This instrument refers to a Memorandum of Agreement consisting of      pages including this page wherein this acknowledgement is written and is signed by the parties and their instrumental witnesses on each and every page thereof.

IN WITNESS WHEREOF I have hereunto set my hand and affixed my notarial seal on the date and place hereinabove stated.

Doc. No. 283  
Page No. 178  
Book No. 87  
Series of 1987.

*Max J. Gaud*  
NOTARY PUBLIC  
NOTARY PUBLIC  
UNTIL DECEMBER 31, 1987  
PTR NO. 000119  
ISSUED AT WPA  
ON 1-2-87









THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of the Philippines will cooperate with each other in implementing the project on the Philippine Trade Training Center (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose of developing manpower in the fields of International Trade, Inspection and Exhibition of exportable products and thus contributing to the promotion of trade of the Republic of the Philippines.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in ANNEX II through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Japanese experts referred to in 1 above and their families will be granted in the Republic of the Philippines the privileges, exemptions and benefits as listed in ANNEX III, and also will be granted the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries or international organizations performing similar missions.

20



### III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX IV through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation scheme.  
The procedures shall be carried out in coordination and consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
2. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of the Philippines upon being delivered c.i.f. to the Philippine authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized properly and exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.

### IV. TRAINING OF PHILIPPINE PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Philippine personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme. The procedures shall be carried out in coordination and consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
2. The Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Philippine personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

leo



V. SERVICES OF THE PHILIPPINE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of the Philippines, the Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to secure at its own expense the necessary services of the Philippine counterpart and administrative personnel as listed in Annex V.
2. The Government of the Republic of the Philippines will allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be dispatched by the Government of Japan as specified in Annex II and will also ensure the retention of their services to fulfill the effective and successful transfer of technology under the Project.

VI. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of the Philippines, the Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to provide at its own expense:
  - (1) Land, buildings and facilities as listed in Annex VI;
  - (2) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above;
  - (3) Transportation facilities and travel allowance for the official travel of the Japanese experts within the Republic of the Philippines;
  - (4) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.

elo



2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of the Philippines, the Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to meet:
  - (1) Expenses necessary for the transportation of the Equipment within the Republic of the Philippines as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
  - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed on the Equipment in the Republic of the Philippines;
  - (3) All running expenses necessary for the implementation of the Project.

#### VII. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Deputy Minister for International Trade, Ministry of Trade and Industry will assume overall responsibility for the implementation of the Project.
2. The Executive Director of Philippine Trade Training Center, as the Head of the Project, will be responsible for the administrative, managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Leader will provide necessary recommendation and advice on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to the Head of the Project and the Deputy Minister for International Trade.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Philippine counterpart personnel nominated by Philippine side on matters pertaining to the implementation of the Project.
5. The Philippine counterpart personnel nominated by Philippine side will work as trainers/instructors in the Center to assure the continuity of the training program during and after the completion of the Japanese Technical Cooperation.

200



6. For the effective and successful implementation of the Project, a Joint Committee will be established with the function and composition as referred to in Annex VII,
7. The Organization of the Project is shown in the Organization Chart given in ANNEX VIII.

#### VIII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of the Philippines will undertake to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of the Philippines except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### IX. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

#### X. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from the date of the signing of this Record of Discussions.

However, there will be a general review by the Joint Committee on the progress of the implementation of the Project during the fourth year, or earlier if necessary, of the cooperation period in order to assess whether the terms of cooperation should be modified for the successful implementation of the Project.

*els*





ANNEX I MASTER PLAN

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to establish the Philippine Trade Training Center which aims at developing manpower in the fields of International Trade, Inspection and Exhibition of exportable products in order to contribute to the promotion of trade of the Republic of the Philippines.

2. Outline of Training Courses at the Center

(1) Trade Training

1) Trade Business Course

- 1)-1 Basic Training for New and Potential Exporters I
- 1)-2 Basic Training for New and Potential Exporters II
- 1)-3 Advanced Training for Exporters
- 1)-4 Seminars for Specialized Market Product

2) Trade Management Course

- 2)-1 Training for Officials and staff
- 2)-2 Training for Instructors

3) Japanese Business Language Course

(2) Inspection Training

1) Furniture (Wood, Bamboo and Rattan)

- 1)-1 Training for Furniture Inspection
- 1)-2 Training for Furniture Testing

2) Garments

- 2)-1 Training for Basic Inspection and Testing
- 2)-2 Training for Advanced Inspection and Testing

lls

3) Food (Frozen Foods, Canned and Bottled Foods and Fruit Juices)

3)-1 Training for Food Product Inspection

3)-2 Training for Food Process Inspection

(3) Exhibition

1) Training for Exhibition Management

1)-1 Training for Exhibition Management

1)-2 Training for Exhibition Design

2) Training for Exhibition Techniques

3. Objective of the Japanese Technical Cooperation

The objective of the Japanese Technical Cooperation is to support the following activities of the Center by means of providing advice and guidance to the counterpart personnel of the Center.

(1) Trade Training

To train Philippine personnel in government and private sectors engaged in trade business with experience as well as knowledge in the field of international trade.

(2) Inspection Training

To train Philippine personnel in government and private sectors in the use of latest testing methodology and testing equipment on export standards to be established by the relevant Philippine authorities and to provide training in the method and system for the inspection on industrial and agricultural products, particularly for exportable products, and to contribute, where required by the relevant Philippine Authorities, to any review of standards testing method and inspection.

*elo*



(3) Exhibition Training

To train Philippine personnel in government and private sectors on methods and techniques for exhibition of potentially exportable products.

ANNEX II JAPANESE EXPERTS

1. Team Leader
2. Coordinator
3. Experts in the fields of:
  - (1) Trade Training (Including Japanese Business Language)
  - (2) Inspection Training
    - 1) Industrial products
    - 2) Agricultural products
  - (3) Exhibition Training

NOTE: Short-term experts may be dispatched when necessity arises, and mutually agreed upon, for the smooth implementation of the project.

ANNEX III PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS

1. The Government of the Republic of the Philippines will grant exemptions from income tax and charges of any kind imposed on the living allowance and others remitted from abroad.

elo



The Government of the Republic of the Philippines will grant exemptions from customs duties in respect of the importation of personal effects by the Japanese experts and their families as well as the importation of machinery and equipment relating to their activities,

3. The Government of the Republic of the Philippines will provide medical facilities.

#### ANNEX IV LIST OF EQUIPMENT

1. Equipment and materials for trade training
2. Equipment and materials necessary for inspection of exportable products
3. Other necessary equipment mutually agreed upon

#### ANNEX V LIST OF PHILIPPINE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Executive Director of the Center
2. Counterpart personnel in the fields of:
  - (1) Trade Training (Including Japanese Business Language)
  - (2) Inspection Training
    - 1) Industrial Products
    - 2) Agricultural Products
  - (3) Exhibition Training

*elo*



3. Administrative Personnel
  - (1) Administration
  - (2) Other necessary supporting staff
4. Other personnel mutually agreed upon when necessity arises

ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land

Address: International Trade Center  
Roxas Boulevard cor. Sen. Gil Puyat Avenue  
Pasay City, Philippines

2. Buildings and facilities necessary for the center

- (1) Office rooms for the experts
- (2) Conference rooms
- (3) Others

ANNEX VII

THE JOINT COMMITTEE

1. Functions

The Joint Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises:

- (1) To formulate the Annual Work Plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation formulated under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program as well as to take effective measures for the achievements of the above-mentioned Annual Work Plan;

*ees*



- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.

2. Composition

(1) Philippine Side

(a) Chairman:

Deputy Minister for International Trade

(b) Members:

- 1) Executive Director of the Center
- 2) President of the Center for International Trade Expositions and Missions, Inc.
- 3) Director of the Bureau of Foreign Trade
- 4) Director of the Product Standard Agency
- 5) Director of the Philippine Textile Research Institute
- 6) Director of the Design Center of the Philippines
- 7) Director of the Bureau of Small and Medium Industries
- 8) Director of the National Cottage Industries Authority
- 9) Director of the Food Development Center
- 10) Director of the Garments and Textile Export Board
- 11) Director of the National Economic Development Authority
- 12) Personnel concerned with the Project of Philippine side

etc



(2) Japanese Side:

- 1) Team Leader
- 2) Coordinator
- 3) Japanese Experts
- 4) Representatives of JICA office in the Philippines
- 5) Personnel concerned with the Project to be dispatched

by JICA

NOTE: Officials of the Embassy of Japan may attend the Joint Committee as observers.

*les*

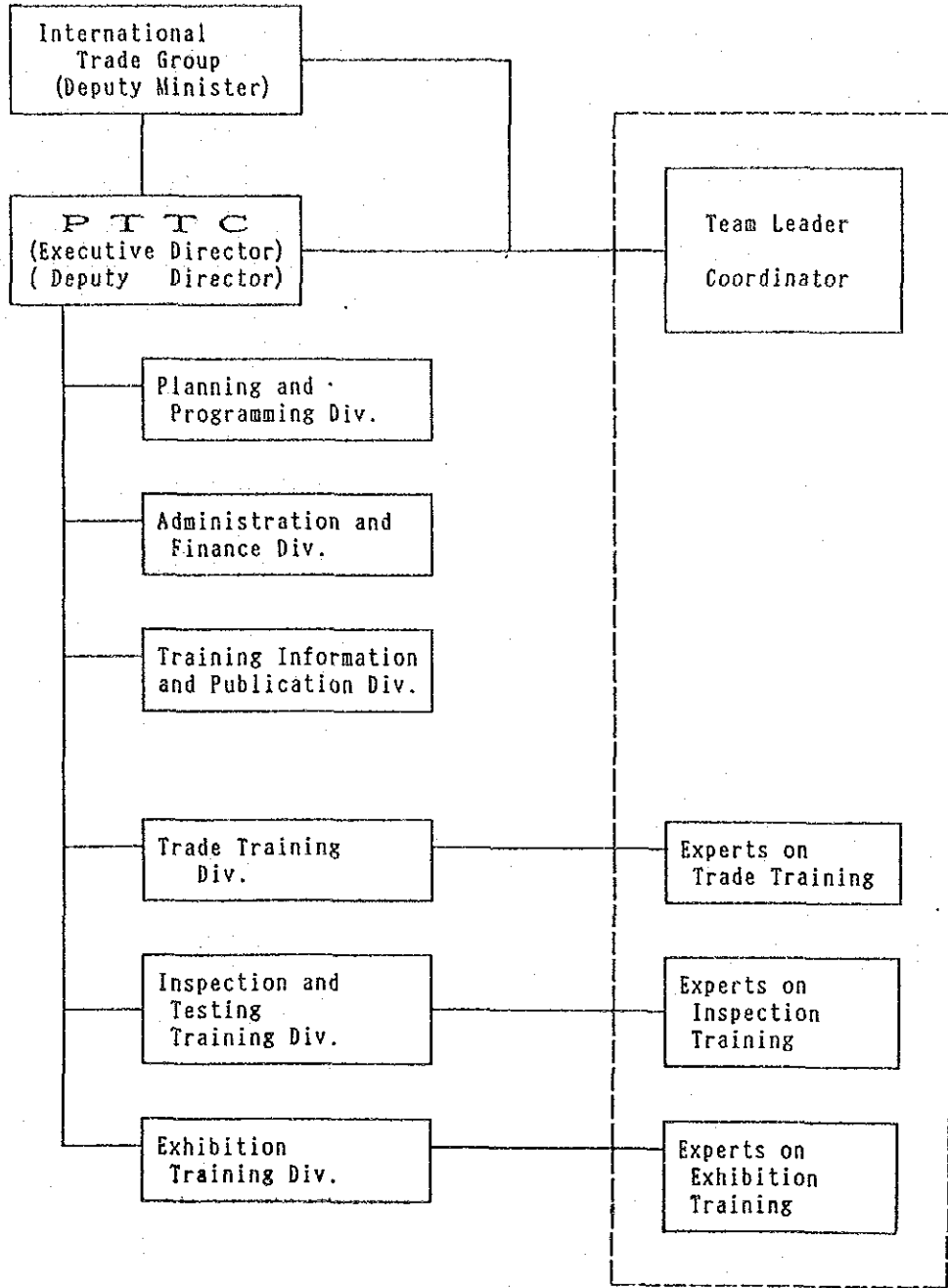


ANNEX VIII

Organization Chart of the Project

(Philippine side)

(Japanese side)



26



TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION  
AND TECHNICAL COOPERATION PROGRAM  
OF THE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER

The Japanese Implementation Survey Team and the representatives of the Ministry of Trade and Industry have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation and the Technical Cooperation Program of the Project as annexed hereto.

These documents have been formulated in connection with Article I, Paragraph 2 of the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Survey Team and the Ministry of Trade and Industry for the Technical Cooperation of the Trade Training Center in the Republic of the Philippines on condition that necessary budget will be allocated for the implementation of the Project, and are subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of implementation of the Project.

Manila, February 23, 1987

飯村 克司

Mr. Keiji Iimura  
Leader  
Implementation Survey Team  
Japan International  
Cooperation Agency  
Japan

~~\_\_\_\_\_~~  
Mr. Raul Boncan  
Deputy Minister  
for International Trade  
Ministry of Trade and Industry  
The Republic of the Philippines

ANNEX I TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

CALENDAR YEAR	1986	1987	1988	1989	1990	1991
JAPANESE FISCAL YEAR	1986	1987	1988	1989	1990	1991
P H A S E	PREPARATION (PHASE I)			IMPLEMENTATION (PHASE II)		SELF-RELIANCE (PHASE III)
TECHNICAL COOPERATION (R/D)						
A. Philippine Side						
1. Construction of PTTC						
2. Staff Recruitment						
3. Operation of PTTC						
B. Japanese Side						
1. Dispatch of Survey team						
2. Dispatch of Japanese Experts						
(Long Term Experts)						
a. Team Leader						
b. Coordinator						
c. Trade Training						
Japanese Business Language						
d. Inspection Training						
Industrial Products						
Agricultural Products						
(Short Term Experts)						
a. Trade Training						
b. Inspection Training						
Industrial Products						
Agricultural Products						
c. Exhibition Training						
		R/D	Consultation	-do-	-do-	Evaluation

CALENDAR YEAR	1986		1987		1988		1989		1990		1991	
	1986		1987		1988		1989		1990		1991	
JAPANESE FISCAL YEAR	1986		1987		1988		1989		1990		1991	
P I I A S E	PREPARATION (PHASE I)		IMPLEMENTATION (PHASE II)		IMPLEMENTATION (PHASE II)		IMPLEMENTATION (PHASE II)		SELF-RELIANCE (PHASE III)		SELF-RELIANCE (PHASE III)	
TECHNICAL COOPERATION (R/D)												
3. Training of Philippine Counterpart Personnel in Japan												
a. Trade Training												
b. Japanese Business Language												
c. Inspection Training												
Industrial Products												
Wooden Products												
Garments												
Agricultural Products												
d. Exhibition Training												
e. Management												
4. Provision of Equipment & Machinery												

NOTE: This schedule is subject to condition that necessary budget will be acquired for the implementation of the project.  
The number of experts in one solid line is subject to change within the scope of technical cooperation given in R/D.

ANNEX II. Contents of the Japanese Technical Cooperation Program

CALENDAR YEAR	1986	1987	1988	1989	1990	1991	
	1986		1987	1988	1989	1990	1991
JAPANESE FISCAL YEAR	1986		1987	1988	1989	1990	1991
P H A S E	PREPARATION (PHASE I)			IMPLEMENTATION (PHASE II)			SELF-RELIANCE (PHASE III)
TECHNICAL COOPERATION (R/D)							
1. Trade Training Trade Business Trade Management	Survey on trade activities in the Philippines Planning of training program Development of training materials & curricula Training of the Philippine counterpart personnel on international trade Guidance on operation of the trade training courses			Guidance on operation of the trade training courses Development of the manuals on the trade training -do-			-do- -do- -do- -do-
Japanese Business Language	Survey on present situation of business language training.			Preparation of curricula and development of training materials Training of counterparts Conduct of training course and review of training materials and curricula Guidance on training course			-do- -do- -do-



## ANNEX III

REQUIRED NUMBER & QUALIFICATION OF PHILIPPINE  
COUNTERPART PERSONNEL (TRAINORS)

POSITION	NO.	QUALIFICATION
<b>I. Staff &amp; Exports Development Division (Trade Training)</b>		
Chief of Division	1	University or college graduate (Economics/Management or Law) Experience: more than 10 years in international trade
Trainer in Trade Management Course	3	University or college graduate (Economics, Management)
Trainer in Trade Business Course	3	Experience: 3-5 years in international trade
Trainer in Japanese Language	2	University, college or Language School graduate (Japanese language) Experience: 3-5 years in Japanese language
	9	
<b>II. Export Quality Assurance Div. (Inspection training)</b>		
Chief of Division	1	University or college graduate (Engineering or any related technical fields) Experience: more than 5 years in Inspection and Quality Control
Trainer in Garment Testing	2	University or college graduate (Engineering or any related technical fields) Experience: 2-3 years in testing
Trainer in Garment analysis	2	University or college graduate (Engineering or any related technical fields) Experience: 2-3 years in Garment analysis

els

Trainer in Wood Products Testing	2	University or college graduate (Engineering or any related technical fields) Experience: 2-3 years in inspection
Trainer in Wood Products Analysis	2	University or college graduate (Engineering or any related technical fields) Experience: 2-3 years in inspection
Trainer in Testing and Analysis of Frozen Foods	1	University or college graduate (Food Technology or any related technical fields)
Trainer in Testing and Analysis in the Canned and bottled Foods (Fish, Fruits, Drink Juice)	3	University or college graduate (Food Technology or any related technical fields) Experience: 2-3 years in food inspection
	13	
III. Exhibition Division (Exhibition Training)		
Chief of Division	1	University or college graduate (Architecture or any related Technical fields) Experience: 3-5 years in exhibition
Trainer in Exhibition	2	University or college graduate (Architecture or any related Technical fields) Experience: 2-3 years in exhibition
	3	

elo

MINUTES OF MEETINGS  
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM  
AND MINISTRY OF TRADE AND INDUSTRY  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER

Technical Cooperation based on the Record of Discussions signed on February 23, 1987 for The Philippine Trade Training Center starts its activities from the date of the signing of the Record of Discussions. Both Japanese and Philippine sides will take necessary measures in the attached document for its commencement.

Manila, February 23, 1987

飯村 圭司

Mr. Keiji Iimura  
Leader  
Implementation Survey Team  
Japan International  
Cooperation Agency  
Japan

Mr. Raul Boncan  
Deputy Minister  
for International Trade  
Ministry of Trade and Industry  
The Republic of the Philippines



THE ATTACHED DOCUMENT

Japanese side are:

1. To take necessary measures to dispatch three (3) long term experts in the field of Trade Training and one (1) coordinator until the end of May 1987 when A-1 forms are in the hands of JICA by the end of March 1987.
2. To take necessary measures to dispatch one (1) long term expert in the field of Trade Training (Japanese Business Language) and three (3) long term experts and necessary number of short term experts in the field of Inspection Training until the end of March 1988.
3. To take necessary measures to receive four (4) counterpart personnel until March 1988 when A2-3 forms are in the hands of JICA by the end of March 1987.
4. To take necessary measures to provide equipment when A4 forms are in the hands of JICA by the end of March 1987.

Philippine side are:

1. To prepare staff and budget necessary for the operation and management of the Project before and after the construction of the building.
2. To prepare counterpart personnel necessary for the implementation of the Project before Japanese experts arrive at the Project.

The necessary number and qualification of the counterpart personnel are in ANNEX III of The Tentative Schedule of Implementation signed on February 23, 1987.

*els*



3. To notify the name of counterpart personnel in the field of Trade Training to JICA by the end of March 1987.
4. The 1987 budget for the Project in The Republic of the Philippines is shown in ANNEX I.
5. To provide suitable offices for Japanese experts before the completion of the building.

elo





ANNEX I

ENC.

7/17  
McAlister  
10:38

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

**Office of Budget and Management**

MALACANANG, MANILA

A-3#47-84

January 20, 1987

Handwritten initials and date: *gob 2/10/87*

The Honorable  
The Minister of Trade and Industry  
361 Sen. Gil J. Puyat Avenue  
Makati, Metro Manila

S i r :

Pursuant to Section 40 of P.D. No. 1177 we are releasing the amount of ₱750,000 to finance the site preparation and the provision of electrical and water facilities at the project site of the Philippine Trade Training Center (Peso Counterpart - JICA Grant), chargeable against the Foreign-Assisted Projects Support Fund, Item XXXIII, page 543, E.O. No. 87.

Accordingly, Advice of Allotment and Cash Disbursement Ceiling No. A-3-0097-87-1-012-0001, dated January 20, 1987, is hereby issued.

Very truly yours,

ALBERTO G. ROMULO  
Minister of the Budget

266





JICA